

(別紙調査票原案)

組合所属の有無	有・無	所属組合	番号
---------	-----	------	----

令和7年木材動態調査票 (静岡県)

【調査対象期間】令和7年1月1日～令和7年12月31日の取扱量および令和7年12月31日現在の状況を記入願います。

1. 名称および住所

名 称			
事業所所在地	(〒 -)		
代 表 者			
電話・ファックス	TEL :	FAX :	
電子メール			

2. 木材業者の営業概要 (あてはまるものにすべて○印を付してください。)

業種・業態 (林業・木材産業)	1 素材生産業 2 素材販売業 3 製材業⇒一般販売、自家消費、賃挽 4 プレカット 5 製品販売業 6 木材市場⇒素材、製品 7 特殊材(集成材・合板等) 製造業⇒(具体的な商品) 8 木材チップ製造業 9 その他()
併業の状況	1 建築業 2 土木建設業 3 家具製造業 4 保存処理(木材防腐) 5 その他()
認可および資格	1 JAS⇒構造、造作、下地、2×4、集成材、合板、フローリング 2 AQ(木質建材認証) 3 輸出梱包熱処理 4 ISO⇒9000、14000 5 建設 6 宅建 7 建築士⇒1級、2級、木造 8 木材業者登録 9 県産材取扱業者認定 10 合法木材事業者認定 11 しずおか優良木材認定工場 12 CoC 認証 13 その他()

3. 木材等の取扱量

区分	原 木				製 品		「県産材製品」 販売量 (販売先別)	製材挽立量 (賃挽含む)	特殊材 生産量 <small>※集成材・合板等</small>
	素材 生産量	購入量	他社 販売量	自社 消費量	購入量	販売量			
国産材 (県内)	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	県内へ → 右に各販売先の 内数を記入	製品で m ³	m ³
国産材 (県外)	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	東京圏(東京・神奈川・ 埼玉・千葉)へ →	委託 ↓ 受託 m ³	m ³
外 材	/	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	その他へ →	製品で ↓ 委託 受託 m ³	m ³
主な取 扱樹種	①スギ(%)		②ヒノキ(%)		③ベイツガ(%)		④ベイマツ(%)		
	⑤アカマツ(%)		⑥カラマツ(%)		⑦ラジアータパイン(%)		⑧南洋材(%)		
	⑨その他(樹種名:) (%)						計(%)		
人工乾燥材 生産量	m ³	CoC 認証 販売量	m ³	プレカット 加工実績	坪	木材チップ生産量 (自社生産のみ)	生 t	オガ粉 出荷量	m ³

4. 木材チップ生産量の内訳 (項目3 木材等の取扱量のうち木材チップ生産量を記入された方のみ)

区分 (由来)	国産原木	輸入原木	端材	解体材・廃材	()
数量	生 t	生 t	生 t	生 t	生 t
含水率	%	%	%	%	%

5. 県産材 (項目2 木材業者の営業概要 業種・業態が「③製材業」又は「⑦特殊材製造業」の方のみ)

①静岡県産材 (どちらかに☑願います。)

扱っている ・ 扱っていない

②静岡県産材を使用した製品の内訳

建築用製品		生産量	その他の製品	生産量
構造材	正角	m ³	ラミナ(集成材用)	m ³
	平角	m ³	土木用材	m ³
造作材		m ³	木箱仕組板・梱包用材	m ³
羽柄材		m ³	家具建具用材	m ³
			その他 ()	m ³

6. 施設の概要

区分	事務所	工場	倉庫	貯木場
数量	棟	工場	棟	ヶ所
面積 (㎡または坪)	㎡	㎡	㎡	㎡
	坪	坪	坪	坪

7. 機械設備等の概要

種類	帯のご盤	自動送材車 付帯のご盤	ツイン帯・ツイン 丸のご盤	丸のご盤	ギヤング リッパー	モルダー (かんな盤)	プレカット 用加工施設	保存処理(木 材防腐)施設
員数	台	台	台	台	台	台	ライン	基
種類	パーカー (剥皮機)	チップパー	乾燥施設		木屑焚 ボイラ	発電設備		焼却炉
			室、m ³	形式 (O印を)		基、出力/ kW		基、火床面積/ m ²
員数	台	台	室 m ³	蒸気式・除湿式 高周波式・その他	基	基 kW		基 m ²
種類	フォーク リフト	トラック (2t 以上)	その他 (特記すべき固有 の機械設備等)		製材用動力の総出力数			
員数	台	台			(KW)			

8. 従業員数 (「事業主を除く」全員を記入。事業主だけの場合は、該当する職種の欄に(1)と記入願います。)

職種	山林 (素材生産)	工場 (製材加工)	流通 (流通販売)	事務	その他	計
人員	人	人	人	人	人	人

記入上の注意事項

調査に御協力いただきありがとうございます。記入に当たり、以下に御注意ください。

○項目2 木材業者の営業概要

- ・該当する項目について全て○印を記入

○項目3 木材等の取扱量

- (1) 素材生産量、原木購入量、原木販売量、原木消費量、製品購入量、製品販売量
 - ・国産材(県内)：県産材の数量を記入
 - ・国産材(県外)：県外国産材の数量を記入
 - ・外材：外材の数量を記入
 - ・素材生産量：自社の生産量と県外事業者・県内事業者から受託した生産量を記入
 - ・原木消費量：1年に自社で消費(製材・チップ加工等)した原木量を記入
- (2) 「県産材製品」販売量(販売先別)
 - ・県内へ：県内の製品販売業や工務店などのユーザーへの販売量を記入
 - ・東京圏へ：東京圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)の製品販売業や工務店などのユーザーへの販売量を記入
 - ・その他へ：上記(県内・東京圏)以外の製品販売業や工務店などのユーザーへの販売量を記入
- (3) 製材挽立量(賃挽量)
 - ・「賃挽量を含む製材挽立量」を「製品ベース」で記入
- (4) 特殊材生産量
 - ・集成材や合板などの特殊材の生産量を記入
- (5) 主な取扱樹種
 - ・主に取り扱っている樹種の割合を記入
- (6) 木材チップ生産量
 - ・水分含む生トンベースで記入

○項目4 木材チップ生産量の内訳

- ・原木を製材する過程で生じた残材等のチップ化は「製材工場等の残材由来」に含める

○項目5 県産材

- ・項目2 木材業者の営業概要のうち、業種・業態(林業・木材産業)のうち、③製材業又は⑦特殊材製造業に○印を付した方のみ、項目5 県産材の①～②について記入
- ※製材挽立量は、賃挽き・委託・受託分を含む
- ※建築用製品の定義：構造材とは柱や梁等の建物の荷重を支える部材、造作材とは内装の仕上げに使用される部材、羽柄材とは構造材や造作材に含まれない下地材等の部材のこと

○項目6～8 施設の概要 から 従業員数 まで

- ・該当数量を記入(全事業者対象)
- ・貯木場とは原木置き場のことを指す